

上福井浄水場浄水発生土処分業務委託特記仕様書

本仕様書は、「(令和 4・5 年度)上福井浄水場浄水発生土収集運搬・処分業務委託」のうち、「処分業務」に適用する。

1. 業務概要

- (1) 処分対象品目 浄水発生土(乾燥汚泥)
- (2) 積込場所 舞鶴市字上福井地内(上福井浄水場排水処理場内)
- (3) 搬入車両 ダンプトラック
- (4) 履行期間 令和 4 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日 まで

2. 提出書類

- (1) 着手届
- (2) 工程表 (契約用)
- (3) 技術者届
- (4) 第三者傷害賠償責任保険証書の写し
- (5) 実施計画書 (収集運搬業務と共通)
 - 1) 業務概要
 - 2) 業務履行体系図
 - 3) 現場組織表
 - 4) 緊急連絡体系図
 - 5) 作業員名簿及び、必要資格書 (写し)
 - 6) 安全管理計画
 - 7) 交通管理計画
 - 8) 使用車両・重機一覧表
 - 9) 産業廃棄物処分業許可証 (写し)
- (6) 発注毎の請求時の提出書類 (運搬業務と共通)
 - 1) 実績報告書
 - 2) 電子マニフェストの処分終了報告書
 - 3) 写真
 - 4) 計量票
 - 5) 請求書
- (7) 完了届
- (8) その他発注者が求める書類

3. 産業廃棄物管理票

浄水発生土の処理に際して必要な産業廃棄物管理票は、電子マニフェストを使用するので、J W N E Tに加入し、電子マニフェストシステムが利用できること。

4. 委託料

- (1) 実績報告書・処理状況写真及び電子マニフェストの処分終了報告書を検査・確認し、1発注毎の委託料を支払うこととする。
- (2) 1発注毎の委託料の計算における発生土量は、1トン単位（1トン未満切捨て）とする。
- (3) 取引にかかる消費税及び地方消費税額の計算において、円未満の額が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。
- (4) 産業廃棄物税に関しては、処分費単価に含むこととする。

5. 産業廃棄物の種類・性状、発生予定数量

上福井浄水場で発生する産業廃棄物（浄水発生土）の種類及び性状は下記の通りである。

- (1) 種類：浄水発生土（無機性汚泥）
- (2) 含水比は、70％程度である。
- (3) 荷姿は、バラである。
- (4) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「廃棄物処理法施行令」という。）第2条の4第5項」に定める特別管理産業廃棄物には該当しない。
- (5) 搬出量は以下のように定める。ただし、数量は確約するものではない。
 - ・2年間搬出予定量 1,156 t（トン）※内訳は、別添「処分量予定表による」

6. 業務内容

- (1) 本業務は、上福井浄水場内の排水処理場から産業廃棄物運搬車両にて搬出した浄水発生土を、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という）及びその他関係法令を遵守し、適正に処理するものである。
- (2) 搬出量は、浄水処理過程・浄水発生土乾燥過程等の状況により変動する。
- (3) 処分量は、計量証明事業者であれば、自社にて計量証明し、そうでない場合は、計量法の定めによる計量事務所に計測して計量証明書を提出すること。
- (4) 当浄水場からの搬出日・数量の変更に関しては収集運搬業者より連絡を受け、円滑に受け入れること。

7. 関係法規の遵守等

- (1) 受注者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「廃棄物処理法」という)を遵守し、不法行為を行ってはならない。
- (2) 産業廃棄物の運搬処分に係る事前協議が必要な都道府県においては、その申請手続きは受注者が行うものとする。また、その申請に必要な汚泥の分析費用等も受注者の負担で行うものとする。
- (3) 受注者は、近隣関係者とトラブルが生じないように十分注意し、万一、第三者との間にトラブルが生じた場合は速やかに受注者の責任で対処しなければならない。
- (4) 産業廃棄物の運搬処分に係る事前協議が必要な都道府県においては、その申請手続きは受注者が行うものとする。また、その申請に必要な汚泥の分析費用等も受注者の負担で行うものとする。
- (5) 受注者は、本仕様書に添付している「試験検査結果書」「廃棄物データシート(WDS)」を参照し、適正な処分を行うこと。

8. その他

本仕様書に記載のない事項については、協議により決定するものとする。

浄水発生土搬出量予定表

(令和4年度)

搬出箇所	搬出量
No.1 乾燥床	$70[\text{m}^3] \times 1.7 = 119[\text{t}]$
No.2 脱水床	$70[\text{m}^3] \times 1.7 = 119[\text{t}]$
No.3 脱水床	$60[\text{m}^3] \times 1.7 = 102[\text{t}]$
No.1 乾燥床	$70[\text{m}^3] \times 1.7 = 119[\text{t}]$
No.2 乾燥床	$70[\text{m}^3] \times 1.7 = 119[\text{t}]$
	小計 約 578[t]

(令和5年度)

搬出箇所	搬出量
No.1 脱水床	$70[\text{m}^3] \times 1.7 = 119[\text{t}]$
No.2 脱水床	$70[\text{m}^3] \times 1.7 = 119[\text{t}]$
No.3 乾燥床	$60[\text{m}^3] \times 1.7 = 102[\text{t}]$
No.1 脱水床	$70[\text{m}^3] \times 1.7 = 119[\text{t}]$
No.2 乾燥床	$70[\text{m}^3] \times 1.7 = 119[\text{t}]$
	小計 約 578[t]

(令和4・5年度) 総搬出量	約 1,156[t]
----------------	------------

※比重を 1.7 で算出

※1発注につき1床分の処分を基本とし、本特記仕様書第4項－(2)により1床毎に1 t未満の切捨てを行っている。ただし、1発注に複数床の搬出を実施した場合は、搬出した複数床の発生土量の総合計から、1 t未満の切捨てを行うものとする。

※本特記仕様書第6項－(2)により搬出量は変動する可能性があるため、上記数量は確約するものではなく、予定数量である。



第 A202042 号

測定報告書

2020年9月1日

計量証明事業登録 計証第濃B1号、計証第騒29号
飲料水水質検査業登録 兵庫県60水第11号の33

サイエンスマイクロ株式会社

〒651-1331 神戸市北区有野町唐櫃3256-1

Tel : 078-987-0170 (代)

Fax : 078-987-0173

舞鶴市舞鶴市長

御中

環境計量士 板谷 知明



貴依頼による測定結果を次のとおり報告します。

測定の結果					
受付日	2020年8月12日		採取場所	上福井浄水場	
受付方法	回収		採取日時	8月12日 9:55	
測定の対象	単位	試料名 測定の方法	排水処理施設 浄水汚泥 (含有量試験)	※1	※2
銅及びその化合物	mg/drykg	昭和47年10月総理府令 第66号準用	10未満	125	—
ひ素及びその化合物	mg/drykg	昭和50年4月総理府令 第31号準用	8.5	15	—
亜鉛	mg/drykg	昭和59年11月環水土 149号準用	110	—	120
以下余白					
備考	・ ※1 農用地における土壌の汚染に係る環境基準 ・ ※2 農用地における土壌中の重金属等の蓄積防止に係る管理基準 ・ 気温 33.0℃, 天候 晴				



第 A202043 号

測定報告書

2020年9月1日

計量証明事業登録 計証第濃31号、計証第騒29号
飲料水水質検査業登録 兵庫県60水第11号の33

サイエンスマイクロ株式会社

〒651-1331 神戸市北区有野町唐櫃3256-1

Tel : 078-987-0170 (代) Fax : 078-987-0173

舞鶴市舞鶴市長

御中

環境計量士 板谷 知明



貴依頼による測定結果を次のとおり報告します。

測定の結果					
受付日	2020年8月12日	採取場所	上福井浄水場		
受付方法	回収	採取日時	8月12日 9:55		
測定の対象	単位	試料名 測定の方法	排水処理施設 浄水汚泥 (含有量試験)		
カドミウム 及びその化合物	mg/drykg	JISK0102-55.3	0.2未満		
六価クロム化合物	mg/drykg	JISK0102-65.2.1	0.5未満		
シアン化合物	mg/drykg	JISK0102-38.5	5未満		
水銀及びその化合物	mg/drykg	昭和46年環境庁告示 第59号付表2	0.1未満		
セレン及びその化合物	mg/drykg	JISK0102-67.2 (備考2)	0.1		
鉛及びその化合物	mg/drykg	JISK0102-54.3	22		
砒素及びその化合物	mg/drykg	JISK0102-61.2 (備考3)	20		
ふっ素及びその化合物	mg/drykg	JISK0102-34.4	78		
ほう素及びその化合物	mg/drykg	JISK0102-47.3	39		
以下余白					
備考	・平成15年環境省告示第19号(含有量試験) ・気温 33.0℃, 天候 晴				



第 A202044 号

測定報告書

2020年9月1日

計量証明事業登録 計証第濃31号、計証第騒29号
飲料水水質検査業登録 兵庫県60水第11号の33

サイエンスマイクロ株式会社

〒651-1331 神戸市北区有野町唐櫃3256-1

Tel : 078-987-0170 (代) Fax : 078-987-0173

舞鶴市舞鶴市長

御中

環境計量士 板谷 知明



貴依頼による測定結果を次のとおり報告します。

測定の結果					
受付日	2020年8月12日		採取場所	上福井浄水場	
受付方法	回収		採取日時	8月12日 9:55	
測定の対象	単位	試料名 測定の方法	排水処理施設 浄水汚泥 (含有量試験)		
アルミニウム	mg/drykg	平成24年底質調査方法準用 及びICP発光分光分析法	110000		
以下余白					
備考	・気温 33.0℃, 天候 晴				



第 A202045-1 号

測定報告書

2020年9月1日

計量証明事業登録 計証第濃31号、計証第騒29号
飲料水水質検査業登録 兵庫県60水第11号の33

サイエンスマイタロ株式会社

〒651-1331 神戸市北区有野町唐櫃3256-1

Tel : 078-987-0170 (代) Fax : 078-987-0173

舞鶴市舞鶴市長

御中

環境計量士 板谷 知明



貴依頼による測定結果を次のとおり報告します。

測定の結果					
受付日	2020年8月12日	採取場所	上福井浄水場		
受付方法	回収	採取日時	8月12日 9:55		
測定の対象	単位	試料名 測定の方法	排水処理施設 浄水汚泥 (溶出量試験)		
アルキル水銀化合物	mg/L	昭和46年環境庁告示 第59号付表3	不検出 0.0005未満		
水銀又はその化合物	mg/L	昭和46年環境庁告示 第59号付表2	0.0005未満		
カドミウム 又はその化合物	mg/L	JISK0102-55.3	0.01未満		
鉛又はその化合物	mg/L	JISK0102-54.3	0.01未満		
有機燐化合物	mg/L	昭和49年環境庁告示 第64号付表1	0.1未満		
六価クロム化合物	mg/L	JISK0102-65.2.1	0.05未満		
砒素又はその化合物	mg/L	JISK0102-61.2 (備考3)	0.01未満		
シアン化合物	mg/L	JISK0102- 38.1.2, 38.5	0.1未満		
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	昭和46年環境庁告示 第59号付表4	0.0005未満		
※トリクロロエチレン	mg/L	JISK0125-5.2	0.001未満		
※テトラクロロエチレン	mg/L	JISK0125-5.2	0.001未満		
※ジクロロメタン	mg/L	JISK0125-5.2	0.001未満		
※四塩化炭素	mg/L	JISK0125-5.2	0.0002未満		
備考	・ 検液の作製は、昭和48年環境庁告示第13号第1(イ)埋立処分による。 ・ ※検液の作製は、昭和48年環境庁告示第13号 別表第2(三)ハ(イ)埋立処分による。 ・ 気温 33.0℃, 天候 晴				



第 A202045-2 号

測定報告書

2020年9月1日

計量証明事業登録 計証第濃31号、計証第騒29号
飲料水水質検査業登録 兵庫県 60水第11号の33

サイエンスマイクロ株式会社

〒651-1331 神戸市北区有野町唐櫃3256-1

Tel : 078-987-0170 (代) Fax : 078-987-0173

舞鶴市舞鶴市長

御中

環境計量士 板谷 知明



貴依頼による測定結果を次のとおり報告します。

測定の結果					
受付日	2020年8月12日	採取場所	上福井浄水場		
受付方法	回収	採取日時	8月12日 9:55		
測定の対象	単位	試料名 測定の方法	排水処理施設 浄水汚泥 (溶出量試験)		
※1,2-ジクロロエタン	mg/L	JISK0125-5.2	0.0004未満		
※1,1-ジクロロエチレン	mg/L	JISK0125-5.2	0.001未満		
※1,2-ジクロロエチレン	mg/L	JISK0125-5.2	0.001未満		
※1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JISK0125-5.2	0.001未満		
※1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	JISK0125-5.2	0.0006未満		
※1,3-ジクロロプロペン	mg/L	JISK0125-5.2	0.0002未満		
チウラム	mg/L	昭和46年環境庁告示 第59号付表5	0.006未満		
シマジン	mg/L	昭和46年環境庁告示 第59号付表6第1	0.003未満		
チオベンカルブ	mg/L	昭和46年環境庁告示 第59号付表6第1	0.02未満		
※ベンゼン	mg/L	JISK0125-5.2	0.001未満		
セレン又はその化合物	mg/L	JISK0102-67.2 (備考2)	0.01未満		
※1,4-ジオキサン	mg/L	昭和46年環境庁告示 第59号付表8第3	0.01未満		
以下余白					
備考	・ 検液の作製は、昭和48年環境庁告示第13号第1(イ)埋立処分による。 ・ ※検液の作製は、昭和48年環境庁告示第13号 別表第2(三)ハ(イ)埋立処分による。 ・ 気温 33.0℃, 天候 晴				



第 A202045-3 号

測定報告書

2020年9月1日

計量証明事業登録 計証第濃31号、計証第騒29号
飲料水水質検査業登録 兵庫県60水第11号の33

サイエンスマイクロ株式会社

〒651-1331 神戸市北区有野町唐櫃3256-1

Tel : 078-987-0170 (代) Fax : 078-987-0173

舞鶴市舞鶴市長

御中

環境計量士 板谷 知明



貴依頼による測定結果を次のとおり報告します。

測定の結果					
受付日	2020年8月12日	採取場所	上福井浄水場		
受付方法	回収	採取日時	8月12日 9:55		
測定の対象	単位	試料名 測定の方法	排水処理施設 浄水汚泥 (溶出量試験)		
クロロエチレン	mg/L	平成9年環境庁告示 第10号付表第2	0.0002未満		
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	JISK0125-5.2	0.001未満		
ふっ素	mg/L	JISK0102-34.4	0.1未満		
ほう素	mg/L	JISK0102-47.3	0.1未満		
以下余白					
備考	・平成3年環境庁告示第46号 (溶出量試験) ・気温 33.0℃, 天候 晴				

< 表 面 >

管理番号

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 2021年9月21日

記入者

1	排出事業者	名称 所在地	舞鶴市上下水道部 上福井浄水場 〒624-0951 京都府舞鶴市 字上福井226番地	所属 担当者	水道整備課維持管理係		TEL FAX	0773-66-2545 0773-64-6488
2	廃棄物の名称	浄水発生土						
3	廃棄物の 組成・成分情報 (比率が高いと 思われる順に 記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付 (組成)	主成分 他 水 70%程度 土 30%程度 (微量成分含む) (土壌有機物:5%程度)					MSDSがある場合、CAS No.	
4	廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 特別管理 産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 鉱さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害)						
5	特定有害廃棄物 溶出試験 ()には 混入有りは○、 無しは×、混入の 可能性があれば△ <input checked="" type="checkbox"/> 分析表添付 (廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)						
6	PRTR対象物質	届出事業所(該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当(該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。						
7	水道水源における 消毒副生成物 前駆物質	<input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルグアニジン(DMG)						
8	その他含有物質 ()には 混入有りは○、 無しは×、混入の 可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (○) ニッケル (×) アルミ (○) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 ()						
9	有害特性 (有・無)・不明	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(℃) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(℃) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物質 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()						
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(粘性土) 臭い(泥臭) 色(茶色) 比重(1.5~1.6) pH() 沸点() 融点() 発熱量() 粘度() 水分(70%程度)						
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入						
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭						
13	荷姿	<input type="checkbox"/> 容器() <input type="checkbox"/> 車両() <input checked="" type="checkbox"/> その他(バラ)						
14	排出頻度 数量	頻度(スポット・継続予定) (1,156) kg (t)・ℓ・m3・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日						

15	特別注意事項 (有 <input checked="" type="radio"/> 無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載 ・避けるべき処理方法、安全のため採用すべき処理方法 ・他の廃棄物との混合禁止 ・粉じん爆発の可能性 ・容器腐食性の可能性／注意点 ・廃棄物の性状変化などに起因する環境汚染の可能性 ・環境中に放出された後の支障発生の可能性(消毒用塩素等との反応により他の物質を生成し、水道取水障害に至る可能性等) 等
----	--	--

【参考】その他の情報

・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ☒ サンプル無 ・ 写真有)

・ 産業廃棄物の発生工程等

```

graph TD
    A[凝集・傾斜板沈殿池] --> B[排泥池]
    B --> C[重力濃縮槽]
    C --> D[汚泥脱水床  
天日乾燥床]
    D --> E[場外搬出・処分]
      
```

＜排出事業者及び処理業者内容確認欄＞

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

＜変更履歴＞

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容